

# つながり

「つながり」は、医療や介護に従事する皆様が、多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして、季節の節目ごとの発行を予定しております。皆様からのご意見やご要望、ご提案など、是非、本センターまでお寄せください。お待ちしております。

## 秋田市在宅医療・介護連携センターがオープンしました！

平成31年1月、地域の医療・介護関係者の連携拠点として、秋田市医師会館の2階に「秋田市在宅医療・介護連携センター」をオープンいたしました。

所長以下、看護師1名、医療ソーシャルワーカー2名のスタッフが、医療と介護の「橋渡し役」となれるよう一生懸命努めてまいりますので、関係者の皆様には、お気軽にお声掛けくださいようお願い申し上げます。



秋田市在宅医療・介護連携センター  
所長 中西 博己

### 私たちは、こんなことに取り組んでまいります！



(相談スタッフ)  
渡 邊・菊 地・熊 谷

#### 〈医療と介護に関する情報を発信します〉

- 地域の医療機関や介護事業所等の所在地、連絡先、機能情報等を収集し、リストやマップに整理してホームページに公開します。
- 本センターの紹介リーフレットや季刊情報誌（つながり）を発行／配布します。

#### 〈在宅医療と介護の連携を支援します〉

- 医療・介護関係者の相互連携に関する相談に応じます。
- 医療ニーズの高い事例について、課題解決への支援を行います。

#### 〈顔の見える関係づくりを目指します〉

- 医療や介護関係者向けの多職種連携研修会等を開催します。
- 各職種が実施している研修情報の共有と、多職種が参加できる研修機会の拡大に努めます。

#### 〈地域住民への普及啓発に取り組みます〉

- 在宅医療や介護に関する市民向け講演会を開催します。
- 地域に出向き、在宅医療や介護連携の普及啓発を目的とする出前講座を実施します。

秋田市医師会としても、秋田市在宅医療・介護連携センターの活動を全面的にバックアップしてまいりますので、医療・介護関係者の皆様には、ご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

秋田市医師会  
在宅医療・介護連携事業  
担当理事 熊谷 肇



## 秋田市在宅医療・介護連携セミナーが開催されました！

平成31年2月10日（日）秋田キャッスルホテルにおいて、秋田市と本センター（秋田市医師会）が主催する秋田市在宅医療・介護連携セミナーが開催され、医療や介護に従事する118名の皆様からご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様には、心より御礼申し上げます。

### 第1部 基調講演「“地域バーチャル病院”を実現するために

かかりつけ医と多職種が果たすべき役割」

講師 千葉健愛会 あおぞら診療所 理事長/院長 川越 正平氏



千葉健愛会 あおぞら診療所  
院長 川越 正平氏

第1部の基調講演には、在宅医療の推進に先駆的に取り組まれている千葉健愛会あおぞら診療所の川越院長をお迎えしました。

先生からは、ご自身が管理責任者をされている松戸市在宅医療・介護連携支援センターで展開している「かかりつけ医在宅医療スタートアップ支援」や「地域バーチャル病院」という概念、「まちっこプロジェクト」等の具体的な活動内容について、数々ご紹介いただきました。

また、地域医療への対応は医師が司ることを踏まえ、連携する多職種に対してはチームを率いる医師から「自分が責任を持つから安心してやるよう」宣言してもらえれば、在宅チーム全体が引き締まる、などのアドバイスもいただきました。



## 第2部 グループワーク

「多職種連携を考える～私たちにどんな時に声をかけてくれるといいのか～」

全体コーディネーター 東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師 後藤 純氏

第2部のグループワークには、東京大学高齢社会総合研究機構から特任講師の後藤先生を全体コーディネーターにお招きしました。

はじめに、他職種向けに自分の職種の仕事の内容や得意な事柄などをPRし、その紹介を聞いた後で、改めて他職種に対して望むこと、他職種が受け持つ仕事内容に興味を湧いたこと等について話し合い、互いに他職種への理解を深めました。



その後、各グループで事例検討を行い、各職種の視点における「気づき」を発表し合いました。

参加者からは、グループワークを通してとても心強いメンバーが集まっていることに感銘を受けた…他の職種についてまだまだ知らないことがあった…多職種で話したら新しい考えが出てきた…等の意見や感想が寄せられました。



東京大学高齢社会総合研究機構  
特任講師 後藤 純氏

本セミナーに参加された方々に、ご意見やご感想をお聞きしました！



半田薬局  
代表取締役 半田 道子さん(薬剤師)

多職種の業務を深く知ることができ、医療と福祉の連携や患者様の生活背景を知って関わることの大切さを改めて実感しました。薬剤師は調剤室にいるイメージ？在宅訪問・服薬支援などにも取り組んでおります。私たち薬剤師ができることを伝えていかなければと思います。

講演はすごく面白かった。グループワークはもう少し時間があればよかったですね。地域で在宅医療の連携を図る上で、敷居を低くして多職種と積極的に関わってもらいたい。多職種や患者・家族がいかに楽しく仕事していけるか。お互い譲り合い、気軽に相談できればうまい方向に向かうと思います。



長谷山内科医院  
院長 長谷山 俊之さん(医師)



「わかば」訪問看護ステーションあらや  
管理者 堀尾 朗子さん(看護師)

病院が在宅を、在宅が病院をイメージできると連携がしやすくなりますよね。再確認しました。医師も看護師も、実は在宅医療に不安があります。松戸のスタートアップ支援のように相談できる場があれば、荷が軽くなるかもしれません。

日々の業務で必要なことが再確認できました。セルフマネジメントの視点を持つ事。情報を見える化させる事。専門職がお互いの業務を理解する事。その気づきがあり、個々のケースに大切に関わっていきこうと原点に戻ることができました。



中通地域包括支援センター幸ザ・サロン  
管理者 竹内 さおりさん(保健師)



細谷病院  
事務長 田口 敦さん(相談員)

連携の重要性を改めて感じました。グループワークで多職種と話ができたことが印象的。やっぱり顔が見えると次から声をかけやすくなりますよね。今後は栄養士や病棟看護師など、院内で働く職種の参加を期待したいです。

多くの職種の皆さんと一緒に学べる貴重な時間でした。地域課題に多職種で取り組み、顔の見える関係が構築される事を考えるとわくわくしますね。ケアマネは各職種のハブ機能。これからも積極的に人とつながっていききたいです。



光峰苑居宅介護支援センター  
管理者 三浦 秀己さん(介護支援専門員)



## 秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金(祝祭日を除く)午前9時～午後5時

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館内)

TEL : 018-827-3636 FAX : 018-827-3614

E-mail renkei-center@acma.or.jp

URL <http://www.acma.or.jp/renkei/>



### 編集後記

本号のインタビューコーナーでは、各職種のスペシャリストの方々とお話をさせていただき大変勉強になりました！ご協力大変ありがとうございました。次号もより充実した内容でお届けいたします。どうぞよろしくお願いたします。

(渡邊)

